

3 動力伝達システム

変更項目のみ記載、記載なき項目は、
既刊の新型車解説書・整備解説書を参照
下さい。

3-1 マニュアルトランスミッション

- 仕様 3-2
- 構造・作動 3-3

3-2 ECVT

- 概要・仕様 3-4
- [1] 車上点検 3-5
- [2] ECVT (単体) 脱着 3-8
 - 整備作業準備品 3-8
 - 整備要領 3-8
- [3] 電磁クラッチ 3-12
 - 構造・作動・点検 3-12
- [4] TB40型・TT40型 3-14
 - 構造・作動 3-14
 - 整備要領 3-19
- (1) オイルポンプASSY 3-19

(2) プーリアライメント

- 調整要領 3-20

[1] 車上点検

— ストールテスト —

ストールテストは、Dレンジでストール状態のエンジン回転数を測定することにより、トランスミッション内部のベルト、プーリおよび電磁クラッチ等の作用を診断する方法であり、この診断をより向上させるため、ストールテストの方法を変更した。

<テスト前の準備>

エンジンオイル、冷却水、ECVTフルードについて点検し、十分に暖機運転を行った後にテストを実施する。

<テストの手順>

- (1) エンジン回転計を運転席から見える所に設置する。
- (2) 前後輪に輪止めをして、さらにパーキングブレーキを引く。
- (3) エンジンを始動し、セレクトレバーを「D」レンジにセットする。
- (4) 左足でフットブレーキを強く踏んだまま、右足でアクセルペダルをゆっくりと全開まで踏込む。
- (5) エンジンが一定回転に安定したら、その時の回転数（ストール回転数）を素早く（5秒以内）読みとり、アクセルペダルを全閉に戻し、5秒間休む。
- (6) 上記（5）項のテストを5回繰返し行い、5回目の回転数をストール回転数とする。



